

プロフィール

講演・取組み発表

【鈴木輝隆 (すずきてるたか)】



江戸川大学社会学部現代社会学科教授。

1949年名古屋市生まれ。北海道大学卒業、神戸市役所、山梨県庁、総合研究開発機構を経て現職。

「住民自治とローカルデザイン力から地域経営」が研究テーマ。

各地の地域づくりに関わり、みつばち先生として親しまれている。北海道ニセコ町、秋田県乳頭温泉「鶴の湯」、長野県小布、北海道ニセコ町、秋田県乳頭温泉「鶴の湯」、長野県小布施町、山梨県甲州市、東京都八王子市、高知県四万十ドラマ、鹿児島県西之表市（種子島）など、全国に地域づくりのネットワークを構築している。

パネルディスカッション

【西村幸夫 (にしむらゆきお)】



東京大学先端科学技術研究センター所長、工学博士。

1952年福岡市生まれ。東京大学年工学科卒、同大学院修了。

ICOMOS(国際記念物遺跡会議)元副会長、世界文化遺産の評価等を行う。

専門は都市保存計画、市民主体のまちづくり論など。

【矢野和之 (やのかずゆき)】



(株)文化財保存計画協会代表取締役。

1946年熊本県生まれ。武蔵工業大学（現東京都市大学）建築学科卒業、同大学院修了。

日本ICOMOS国内委員会事務局長。加賀市伝統的建造物群保存審議会委員。

文化遺産の保存活用の調査・計画・設計監理の専門家として幅広く活動している。

【瀬戸 達 (せとさとる)】



1971年瀬戸設計設立。2001年NPO法人歴町センター大聖寺事務局長。

大聖寺の街並み保存活動に取り組み、地元の観光・地域振興に貢献。

全国町並み保存連盟常任理事として、県外での講演活動を通じて、ふるさとのPRに尽力している。